



■病院の概要

令和4年12月1日現在

医師数：504人  
 病床数：922床（一般863床、精神32床、歯科27床）  
 外来患者数：1,610人/日（令和3年度実績）  
 入院患者数：501人/日（令和3年度実績）  
 待遇：1年目約300千円/月（別途、諸手当支給）  
 2年目約300千円/月（別途、諸手当支給）

指導医数 <b>188</b> 人	研修医数 <b>31</b> 人	新規入院患者数 <b>17380</b> 人 (令和3年度実績)	手術件数 <b>7088</b> 件 (令和3年度実績)
----------------------	---------------------	--	------------------------------------

■初期臨床研修プログラムの一例

- ① 選べる研修コース：2年間を当院または1年間を市中病院で研修可能、産婦人科・小児科コースも設置
- ② 広域な研修エリア：協力型臨床研修病院は道内各地40以上、地域医療研修施設は道内外・離島等30以上
- ③ 多様な選択と交流：自由選択は30以上の診療科から選択、連携施設の研修医も短期受入（年間約60名）
- ④ 上級医のサポート：上級医がメンター役となり、研修の進捗やキャリア形成等に関する相談対応・支援
- ⑤ 専門研修への接続：全基本領域の専門研修基幹施設であり専門医取得に向けたシームレスな研修を実現
- ⑥ 学位取得への道筋：本学大学院医学研究科（博士課程）入学希望者は1年次に受験し、2年次から入学

1年目	24週以上	28週以上	
	内科	必修分野（救急、外科、小児科、産婦人科、精神科）、自由選択	
2年目	4週以上	4週以上	44週以上
	地域医療	救急（三次救急・集中治療）	必修分野・自由選択
	※1年目を市中病院（たすきがけ研修）、2年目を当院で研修するケース		

■研修医からのメッセージ

私は1年目に市中病院でcommon disease、地域に根ざした医療について学び、2年目の大学病院では一つ一つの症例について深く掘り下げるアセスメントを学びました。医師として働く上では、いわゆる“症例のシャワー”のごとくたくさんの経験をこなすこと、目の前の症例を隅から隅まで目を凝らして診療することのどちらも必要だと思います。初期臨床研修医という医師として伸び代しかない時期にどちらの経験もできるという意味で、大学病院と市中病院で研修できたのは自分にとって大きなプラスであったと思います。

ある時、市中病院で慣れてきた内服薬の処方に対して大学病院でその必要性、根拠を問われました。明確な根拠がないことに自分でも気がつき、自分の診療の危うさを実感することとなりました。大きな学びであったと思います。ぜひ市中病院、大学病院で幅広く経験を積み、間口の広い医師になるために共に頑張りましょう。

（恵良田 健人：令和3年度修了、札幌医科大学卒）

研修医生活の中で私が最も頭を悩ませ時間を費やしたのは入局先についてでした。学生時代には全く興味なかった科も、実際に自分がローテートして患者さんと診察するようになると、とても理解が深まって一気に楽しくなるということが多かったため、1年目が終わるときにはもともと興味のあった科も含めて3つほど候補にありました。そのため2年目のローテートは主に進路選択に費やしました。

今後も医者人生は長く続くであろうと考え、興味のある分野でなければならないのは絶対ですが、指導体制がどうなっているのか、数年後の自分はどのように働いているのかなど、実際に働いてみてから気になることが多かったため、そういうことも加味して入局先を決定しました。

市中病院と大学病院の両方で色々な先生方の働き方を見て実際に想像しやすくてとても参考になったので、進路に悩んでいる方はそういうことも参考にしてみてください。有意義な研修生活を送ってください。

（小野寺 優奈：令和3年度修了、札幌医科大学卒）



■連絡先

ADDRESS  
 〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目  
 PHONE  
 011-688-9486  
 担当部署  
 札幌医科大学附属病院 病院課臨床研修係  
 E-MAIL  
 kenshu@sapmed.ac.jp  
 URL  
<https://web.sapmed.ac.jp/byoin/center/index.html>

■専門研修プログラム（基：基幹施設、連：連携施設）

基	連	領域	基	連	領域	基	連	領域
●	●	内科	●		眼科	●	●	臨床検査
●		小児科	●	●	耳鼻咽喉科	●	●	救急科
●		皮膚科	●		泌尿器科	●	●	形成外科
●	●	精神科	●	●	脳神経外科	●	●	リハビリテーション科
●		外科	●		放射線科	●		総合診療
●	●	整形外科	●		麻酔科			
●		産婦人科	●	●	病理			